

樹木オリエンテーリング「この木なんの木？」

マップに示された木をグループで協力して探し、ヒントをもとに観察してそれぞれの木の特徴を考えます。グループの団結力を高めたり、身近な自然に親しむのに最適です。



対象	実施時期	定員	所要時間
4年生以上	通年	5～150人	1時間半
可能な活動場所			
所内樹木オリエンテーリング「この木なんの木」コース			
利用者持ち物		プラザ貸し出し備品	
マップ・解答用紙・筆記用具・時計・水筒・帽子・バインダー（※マップと解答用紙はHPの「プログラム紹介」から印刷してください。）		樹木オリエンテーリング「この木なんの木？」進め方・解答・答え合わせファイル	

ねらい

- ・身近な自然（いろいろな樹木）に親しむことの楽しさを知る。
- ・仲間と協力し活動する大切さを知る。
- ・マップを見ながら野外を歩き回り、目標物を探す楽しさを味わう。

ルール

- ・所要時間は1時間半程度です。
- ・ポイントは15か所です。どのポイントから始めてもいいです。
- ・マップ上の●マーク周辺で、「木の名前・説明」プレートがついている木を探します。
- ・見つけたら、解答用紙上の各「木の特徴」と照らし合わせます。
- ・「木の名前・説明」プレートが「木の特徴」に当てはまった場合、解答用紙の該当箇所に番号と木の名前を書きます。
- ・コースを回り得点を競います。
- ・問題によって1つ5点のものと10点のものがあります。合計100点です。
- ・メンバーの体力差を考えながら、班全員でまとまって行動しましょう。
- ・所要時間内に全員がそろってゴールします。全部見つからなくても集合場所に集まります。

実施の流れ（当所職員による説明はありません）

準備

- ① 「利用者持ち物」を確認し、事前に準備します。
- ② 受付にて、「プラザ貸し出し備品」をお渡しします。
- ③ 1班を6人程度に編成します。
- ④ 緊急時の対応を考慮して各所に指導者を配置します。

- ⑤ トイレを済ませ、人数確認、健康観察をします。

導入（全体説明）

- ① 上記「ねらい」を参考にして動機づけを行います。
- ② 各班にマップ／1枚、解答用紙／1枚、バインダー／1個、時計／1個を配布します。
- ③ ルール、マップの見方、コース、所要時間について周知・確認します。
- ④ 下記「留意点」を参考にして安全上の注意を周知・確認します。
- ⑤ 「問題は協力して解くように」と伝えます。

実施

- ① 出発する前にマップを見て、どうしたら効率よく回れるかを班で話し合います。
- ② メンバー間の体力差を考慮し、班でまとまって行動します。
- ③ どのポイントからでもスタートできます。
- ④ マップ上の●マークへ向かい、活動に取り組みましょう。

答え合わせ

- ① 答え合わせをし、得点を集計します。
- ② 問題の答えについて解説します。

ふりかえり

- ① 班で協力できたか、班の中での自分の行動はどうだったか、他の人の行動はどうだったかをふりかえります。
- ② 森の中にはどんな樹木があるか、話し合ってみましょう。

片づけ

- ① 当所からの貸し出し備品を返却します。

留意点

○活動上の留意点

- ① スタート前にトイレを済ませましょう。
- ② スタート前に指導者の配置を説明しておきましょう。
- ③ 所要時間を確認しましょう。
- ④ 活動範囲を確認しましょう。「これより先オリエンテーリングのポストはありません」の看板（展望台）より先に行かない、また施設外の道路には出ないようにしましょう。
- ⑤ 森林環境に親しみつつ学ぶことができるよう、できるだけ全部の●を回しましょう。ただし、所要時間を競う必要はありません。
- ⑥ 自然にやさしい活動になるよう、以下のフィールドマナーに気をつけましょう。
 - ・動植物の採取や損傷はしない。
 - ・ゴミは持ち帰る。

○安全上の注意点

- ① 危険箇所や危険な動植物、転倒・転落に注意して歩くことなどを確認しましょう。コースにナラ枯れがある場合、注意して歩いてください。
- ② 荒天時の判断は、参加者の人数や年齢、体調等を考慮し、団体で決定してください。雷鳴が聞こえた場合、活動を中止して近くの建物に避難しましょう。
- ③ 緊急時等の対応を考えましょう（引率者の役割の確認・緊急時の連絡方法・救急薬品等の準備）。
- ④ 問題の看板が倒れていたり破損していた場合には、事務室に連絡してください。